

注3

大学番号：私279

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

広島修道大学 国際コミュニティ学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長・栗原 <sup>クリハラ</sup> <sup>シンジ</sup> 伸治

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際コミュニティ学部

<国際政治学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

<地域行政学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	50
2. 授業科目の概要	54
3. 施設・設備の整備状況、経費	63
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	64
5. 教員組織の状況	66
6. 留意事項等に対する履行状況等	93
7. その他全般的事項	94

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修道学園

## (2) 大学名

広島修道大学

## (3) 大学の位置

〒731-3195  
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)		
学部長	(ヤベ ツネオ) 矢部 恒夫 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ナナミ アキコ) 名波 彰子 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合 (平成30年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際コミュニティ学部 国際政治学科 学士(国際政治学)	法学関係	4年	75人	- 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- ( - ) [ - ]	75 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	1.12倍						
志願者数	- ( - ) [ - ]	436 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
受験者数	- ( - ) [ - ]	431 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
合格者数	- ( - ) [ - ]	247 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
B 入学者数	- ( - ) [ - ]	84 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.12			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( )) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	- [ - ] ( - )	84 [ 0 ]	- [ - ]							
2 年次	/		- [ - ] ( - )							
3 年次			/		- [ - ] ( - )					
4 年次					/		- [ - ] ( - )			
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			- [ - ] ( - )			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	84 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	84 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	海外研修D(ASU/Intensive English)	1~3		4							1
	海外研修E(CCCU/General English Core 1)	1~3		5							1
グローバル科目・国際共修科目	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society I)	1・2①		2							1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society II)	1・2②		2							1
	Multicultural Project (Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2④		2							1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2②		2							1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2③		2							1
	多文化交流プロジェクト(多文化理解)	1・2①-②		2							1
	多文化交流プロジェクト(地方の魅力)	1・2①-②		2							1
多文化交流プロジェクト(広島再発見)	1・2③-④		2							1	
多文化交流プロジェクト(日本語・日本文化ゼミ)	1・2②		2							1	
共通教育科目・教養科目	哲学	1・2①-②		2							1
	倫理学	1・2①-②		2							1
	美学	1・2①-②		2							1
	芸術学	1・2①-②		2							2
	日本文学	1・2①-②		2							1
	西洋文学	1・2①-②		2							2
	日本語学	1・2①-②		2							1
	心理学	1・2①-②③		2							5
	文化論	1・2①-②		2							2
	文化人類学	1・2①-②		2							1
	日本史	1・2①-②		2							2
	東洋史	1・2①-②		2							1
	西洋史	1・2①-②		2							1
	地理学	1・2①-②		2							1
	社会学	1・2①-②		2							1
	法学	1・2①-②		2							1
	政治学	1・2②		2							1
	経済学	1・2①-②		2							2
	統計学	1・2①-②		2							1
	情報社会論	1・2①-②		2							1
	物理学	1・2①-④		2							1
	化学	1・2①-④		2							1
	生物学	1・2①-④		2							1
	環境科学	1・2①-④		2							1
	数学	1・2①-②		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2③-④		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2③-④		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1・2④		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2③-④		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2③-④		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2③-④		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2③-④		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2③-④		2							1
教養講義(西洋中近世史)	1・2③-④		2							1	
教養講義(生活の中の地理学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2③-④		2							1	
教養講義(政党と選挙の政治学)	1・2④		2							1	
教養講義(現代経済学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(応用統計学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(情報環境論)	1・2③-④		2							1	
教養講義(ヒトの生命科学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(応用数学)	1・2③-④		2							1	
総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2③-④		2							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	海外研修D(ASU/Intensive English)	1~3		4							1
	海外研修D(UAS/Intensive German)	1~3		4							1
	海外研修D(RMIT/Reading 2)	1~3		4							1
	海外研修D(RMIT/Writing 2)	1~3		4							1
	海外研修D(RMIT/Listening 2)	1~3		4							1
	海外研修D(RMIT/Speaking 2)	1~3		4							1
	海外研修D(説明/現代韓国事情)	1~3		4							1
	海外研修D(仁川/現代韓国事情)	1~3		4							1
	海外研修E(CCCU/General English Core 1)	1~3		5							1
	海外研修E(CCCU/General English Core 2)	1~3		5							1
グローバル科目・国際共修科目	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society I)	1・2①		2							1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society II)	1・2②		2							1
	Multicultural Project (Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2④		2							1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2②		2							1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2③		2							1
	多文化交流プロジェクト(多文化理解)	1・2①-②		2							1
	多文化交流プロジェクト(地方の魅力)	1・2①-②		2							1
	多文化交流プロジェクト(広島再発見)	1・2③-④		2							1
	多文化交流プロジェクト(日本語・日本文化ゼミ)	1・2②		2							1
	多文化交流プロジェクト(現代の社会)	1・2③-④		2							1
共通教育科目・教養科目	哲学	1・2①-②		2							1
	倫理学	1・2①-②		2							1
	美学	1・2①-②		2							1
	芸術学	1・2①-②		2							1
	日本文学	1・2①-②		2							1
	西洋文学	1・2①-②		2							1
	日本語学	1・2①-②		2							1
	心理学	1・2①-②		2							1
	文化論	1・2①-②		2							2
	文化人類学	1・2①-②		2							1
	日本史	1・2①-②		2							2
	東洋史	1・2①-②		2							1
	西洋史	1・2①-②		2							1
	地理学	1・2①-②		2							1
	社会学	1・2①-②		2							1
	法学	1・2①-②		2							1
	政治学	1・2②		2							1
	経済学	1・2①-②		2							3
	統計学	1・2①-②		2							1
	情報社会論	1・2①		2							1
	物理学	1・2①-④		2							1
	化学	1・2①-④		2							1
	生物学	1・2①-④		2							1
	環境科学	1・2①-④		2							1
	数学	1・2①-②		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2③-④		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2③-④		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2③-④		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1・2④		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2③-④		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2③-④		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2③-④		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2③-④		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2③-④		2							1
教養講義(西洋中近世史)	1・2③-④		2							1	
教養講義(生活の中の地理学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2③-④		2							1	
教養講義(政党と選挙の政治学)	1・2④		2							1	
教養講義(現代経済学)	1・2③-④		2							2	
教養講義(応用統計学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(情報環境論)	1・2③-④		2							1	
教養講義(ヒトの生命科学)	1・2③-④		2							1	
教養講義(応用数学)	1・2③-④		2							1	
総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2③-④		2							1	





【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目・保健体育科目	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	3①~②	2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	3③~④	2							1
	健康科学論	1~2①~④	2							3
	運動科学論	1~2③~④	2							1
	健康科学演習	1~2①~②	2							1
	運動科学演習	1~2③~④	2							1
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1~2③~④	1							2
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1~2①~④	1							2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1~2①~②	1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(卓球)	1~2①~②	1							2
	健康スポーツ実習(テニス)	1~2①~④	1							3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1~2③~④	1							1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1~2③~④	1							1
	健康スポーツ実習(フットサル)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1~2③~④	1							1
	運動スポーツ実習(アアテックスボート)	1~2①~④	1							1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1~2①~④	1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1~2①~④	1							1
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1~2①~④	1							2
	運動スポーツ実習(卓球)	1~2①~④	1							2
	運動スポーツ実習(テニス)	1~2①~④	1							3
運動スポーツ実習(バスケットボール)	1~2①~④	1							1	
運動スポーツ実習(バドミントン)	1~2①~④	1							2	
運動スポーツ実習(バレーボール)	1~2①~④	1							1	
運動スポーツ実習(フットサル)	1~2①~④	1							1	
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2~3①~②	1							2	
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2~3②~③	1							2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2~3①~②	1							1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2~3③~④	1							1	
主専攻科目・学部入門科目	世界と地域	1①	1		5	1		1		13
	異文化理解論	1①	2		1					2
	日本と世界の現代史	1②	2		1			1		2
	政治の考え方	1④	2							2
	社会のしくみ	1②	2							2
主専攻科目・学科基礎科目	国際政治入門	1④	1		5	1		1		1
	社会科学入門	1②	1		1					1
	体験実践A	1③	2		5	1		1		1
	体験実践B	1③	4		5	1		1		1
	体験実践論	1③	1		1					3
主専攻科目・学科科目・国際コミュニケーション領域	Cross-Cultural Communication	1②	2							1
	Hiroshima Studies	1①~②	2							1
	Japan Studies	1③	2							1
	Introduction to Research	1①~③	2							1
	Introduction to Public Speaking	1②~④	2							1
	Academic Research & Presentation	3①	2							1
	Global/Regional Studies A (Modern China)	1~2②	1		1					1
	Global/Regional Studies A (Japan's Foreign Policy in the International Aspects)	1~2①	1				1			1
	Global/Regional Studies A (Introduction to Czech Modern History)	1~2④	1		1					1
	Global/Regional Studies B (Miyajima Studies)	1~2③~④	2							1
	Global/Regional Studies B (Understanding Global/Regional Issues)	1~2③	2		1					1
International Affairs (Peace and Security)	2~3④	1							1	
International Affairs (Understanding International Issues)	2~3③	1		1					1	
International Affairs (Reading and discussing documents in Foreign Affairs)	2~3②	1		1					1	
International Affairs (Discussing/analyzing arguments in Foreign Affairs)	2~3②	1		1					1	
主専攻科目・学科科目	国際政治学	2~3①	2		1					
	国際組織論	2~3①	2		1					
	国際政治経済	2~3③	2		1					
	国際開発論	2~3②	2		1					
	国際協力論	3③	2		1					
	外交政策論	3③~④	2					1		
	安全保障論	2~3④	2							1
	平和学	2~3②	2							1
	紛争と平和	3①~②	2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目・保健体育科目	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	3①~②	2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	3③~④	2							1
	健康科学論	1~2①~④	2							3
	運動科学論	1~2③~④	2							1
	健康科学演習	1~2①~②	2							1
	運動科学演習	1~2③~④	2							1
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1~2③~④	1							2
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1~2①~④	1							2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1~2①~②	1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1~2①~④	1							2
	健康スポーツ実習(卓球)	1~2①~②	1							2
	健康スポーツ実習(テニス)	1~2①~④	1							3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1~2③~④	1							1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1~2③~④	1							1
	健康スポーツ実習(フットサル)	1~2①~④	1							1
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1~2③~④	1							1
	運動スポーツ実習(アアテックスボート)	1~2①~④	1							1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1~2①~④	1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1~2①~④	1							2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1~2①~④	1							2
	運動スポーツ実習(卓球)	1~2①~④	1							2
	運動スポーツ実習(テニス)	1~2①~④	1							3
運動スポーツ実習(バスケットボール)	1~2①~④	1							1	
運動スポーツ実習(バドミントン)	1~2①~④	1							2	
運動スポーツ実習(バレーボール)	1~2①~④	1							1	
運動スポーツ実習(フットサル)	1~2①~④	1							1	
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2~3①~②	1							2	
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2~3②~③	1							2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2~3①~②	1							1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2~3③~④	1							1	
主専攻科目・学部入門科目	世界と地域	1①	1		4	2		1		13
	異文化理解論	1①	2		1					2
	日本と世界の現代史	1②	2		1			1		2
	政治の考え方	1④	2							2
	社会のしくみ	1②	2							2
主専攻科目・学科基礎科目	国際政治入門	1④	1		4	2		1		1
	社会科学入門	1②	1		1					1
	体験実践A	1③	2		1					1
	体験実践B	1③	4		1					1
	体験実践論	1③	1		1					3
主専攻科目・学科科目・国際コミュニケーション領域	Cross-Cultural Communication	1②	2							1
	Hiroshima Studies	1②	2							1
	Japan Studies	1③	2							1
	Introduction to Research	1①~③	2							1
	Introduction to Public Speaking	1①~③	2							1
	Academic Research & Presentation	3①	2							1
	Global/Regional Studies A (Modern China)	1~2②	1		1					1
	Global/Regional Studies A (Japan's Foreign Policy in the International Aspects)	1~2①	1				1			1
	Global/Regional Studies A (Introduction to Czech Modern History)	1~2④	1		1					1
	Global/Regional Studies B (Miyajima Studies)	1~2③~④	2							1
	Global/Regional Studies B (Understanding Global/Regional Issues)	1~2③	2		1					1
International Affairs (Peace and Security)	2~3④	1							1	
International Affairs (Understanding International Issues)	2~3③	1		1					1	
International Affairs (Reading and discussing documents in Foreign Affairs)	2~3②	1		1					1	
International Affairs (Discussing/analyzing arguments in Foreign Affairs)	2~3②	1		1					1	
主専攻科目・学科科目	国際政治学	2~3①	2			1				
	国際組織論	2~3①	2			1				
	国際政治経済	2~3③	2			1				
	国際開発論	2~3②	2			1				
	国際協力論	3③	2			1				
	外交政策論	3③~④	2					1		
	安全保障論	2~3④	2							1
	平和学	2~3②	2							1
	紛争と平和	3①~②	2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
国際政治領域	国際日本学	2・3③		2		1					
	国際ジャーナリズム論	2・3③-④		2		1					
	国際移動研究	3③		1		1					
	NGO・NPO論	3①~②		2		1					
	国際人権論	3①		2		1					
国際政治特論A(ジェンダーと国際社会)	2・3③		1							1	
国際政治特論B(核兵器と国際社会)	3・4①-②		2							1	
主専攻科目・学科学科目・地域研究領域	日本政治外交史	2・3②		2					1		
	東洋政治外交史	2・3①		2		1					
	西洋政治外交史	2・3③		2		1					
	政治と社会(中国)	2・3④		2		1					
	政治と社会(アメリカ)	2・3①		2		1					
	政治と社会(ヨーロッパ)	3①~②		2		1					
	政治と社会(中東)	3・4①-②		2		1					
	民族と社会	3①~②		2							1
	文明論研究	3・4③		1		1					
	地域研究特論A(オセアニア)	2・3①		1		1					
	地域研究特論A(ロシア)	2・3②		1		1					
	地域研究特論A(東欧)	2・3②		1		1					
地域研究特論A(中央ユーラシア)	2・3④		1							1	
地域研究特論B(日欧比較文化)	3・4③-④		2							1	
地域研究特論B(韓国・朝鮮)	3・4③-④		2							1	
地域研究特論B(東南アジア)	3・4③-④		2							1	
主専攻科目・学科学科目・政治・経済領域	政治学概論	1・2①		2							1
	政治思想	3③~④		2							1
	日本の政治	2・3①		2							1
	政治過程論	2・3②		2							1
	憲法原論	2・3③-④		2							1
	現代経済入門	1・3①-②		2							1
	マクロ経済学	3・4①-②		2							1
	国際経済論	3①~②		2							1
	国際貿易論	3①~②		2							1
	政治・経済特論A(裁判と法)	2・3②		1							1
	政治・経済特論B(政治と歴史認識)	3③~④		2							1
主専攻科目・学科学科目・学科学科目	行政学	3・4①		2							1
	地方自治論	3・4②		2							1
	政策概論	3・4②		2							1
	ソーシャルイノベーション論	3・4①		2							2
	地域コミュニケーション	3・4②		2							1
	社会政策論	3・4②		2							1
	法律学概論	3・4③-④		2							4
	国際法	2・3③		2		1					
	労働法	3・4①		2							1
	社会調査論	3・4②		2		1					
	特別講義A(マスコミ文章講座)	1~3+++		1							1
特別講義B(リサーチリテラシー)	3①		2							1	
特別講義B(行政法)	3①~②		2							1	
主専攻科目・実習科目	基礎演習	2①~③		2		4					1
	ゼミナールa	3・4①-②		2		5	1		1		1
	ゼミナールb	3・4③-④		2		5	1		1		1
	卒業研究	4③~④		2		5	1		1		1
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	3・4②		1							1
	インターンシップA	2・3通		2		5	1		1		1
	インターンシップB	2・3通		4		5	1		1		1
	長期インターンシップA	1・2通		4							1
	長期インターンシップB	1・2通		8							1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通		1							1
	地域プロジェクトA	3①~②		2		2					2
	地域プロジェクトB	3③~④		2		2					2
	グローバル・プロジェクト入門	3・4③		1							1
	グローバル・プロジェクトA	3・4④		2							2
	グローバル・プロジェクトB	3・4④		2							2
主専攻科目	日本史概論I	1①~②		2							1
	日本史概論II	1・2③-④		2							1
	東洋史概論I	1①~②		2							2
	東洋史概論II	1・2③-④		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
国際政治領域	国際日本学	2・3③		2				1			
	国際ジャーナリズム論	2・3③-④		2		1					
	国際移動研究	3③		1		1					
	NGO・NPO論	3①~②		2		1					
	国際人権論	3①		2		1					
国際政治特論A(ジェンダーと国際社会)	2・3③		1							1	
国際政治特論B(核兵器と国際社会)	3・4①-②		2							1	
主専攻科目・学科学科目・地域研究領域	日本政治外交史	2・3②		2						1	
	東洋政治外交史	2・3①		2		1					
	西洋政治外交史	2・3③		2		1					
	政治と社会(中国)	2・3④		2		1					
	政治と社会(アメリカ)	2・3①		2		1					
	政治と社会(ヨーロッパ)	3①~②		2		1					
	政治と社会(中東)	3・4①-②		2		1					
	民族と社会	3①~②		2							1
	文明論研究	3・4③		1		1					
	地域研究特論A(オセアニア)	2・3①		1		1					
	地域研究特論A(ロシア)	2・3②		1		1					
	地域研究特論A(東欧)	2・3②		1		1					
地域研究特論A(中央ユーラシア)	2・3④		1							1	
地域研究特論B(日欧比較文化)	3・4③-④		2							1	
地域研究特論B(韓国・朝鮮)	3・4③-④		2							1	
地域研究特論B(東南アジア)	3・4③-④		2							1	
主専攻科目・学科学科目・政治・経済領域	政治学概論	1・2①		2							1
	政治思想	3③~④		2							1
	日本の政治	2・3①		2							1
	政治過程論	2・3②		2							1
	憲法原論	2・3③-④		2							1
	現代経済入門	1・3①-②		2							1
	マクロ経済学	3・4①-②		2							1
	国際経済論	3①~②		2							1
	国際貿易論	3①~②		2							1
	政治・経済特論A(裁判と法)	2・3②		1							1
	政治・経済特論B(政治と歴史認識)	3③~④		2							1
主専攻科目・学科学科目・学科学科目	行政学	3・4①		2							1
	地方自治論	3・4②		2							1
	政策概論	3・4②		2							1
	ソーシャルイノベーション論	3・4①		2							2
	地域コミュニケーション	3・4②		2							1
	社会政策論	3・4②		2							1
	法律学概論	3・4③-④		2							4
	国際法	2・3③		2		1					
	労働法	3・4①		2							1
	社会調査論	3・4②		2		1					
	特別講義A(マスコミ文章講座)	1~3+++		1							1
特別講義B(リサーチリテラシー)	3①		2							1	
特別講義B(行政法)	3①~②		2							1	
主専攻科目・実習科目	基礎演習	2①~③		2				3			1
	ゼミナールa	3・4①-②		2		4		2		1	1
	ゼミナールb	3・4③-④		2		4		2		1	1
	卒業研究	4③~④		2		4		2		1	1
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	3・4②		1							1
	インターンシップA	2・3通		2				4	1		1
	インターンシップB	2・3通		4				4	1		1
	長期インターンシップA	1・2通		4							1
	長期インターンシップB	1・2通		8							1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通		1							1
	地域プロジェクトA	3①~②		2		2					2
	地域プロジェクトB	3③~④		2		2					2
	グローバル・プロジェクト入門	3・4③		1							1
	グローバル・プロジェクトA	3・4④		2							2
	グローバル・プロジェクトB	3・4④		2							2
主専攻科目	日本史概論I	1①~②		2							1
	日本史概論II	1・2③-④		2							1
	東洋史概論I	1①~②		2							2
	東洋史概論II	1・2③-④		2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
・学部関連科目	西洋史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1~③~④	2								1
	人文地理学Ⅰ	2~③~④	2								1
	人文地理学Ⅱ	2~③~④	2								1
	自然地理学	2~③~④	2								1
	地誌Ⅰ	2~③~④	2								1
	地誌Ⅱ	2~③~④	2								1
	哲学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	哲学概論Ⅱ	1~③~④	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1~③~④	2								1
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②	2								1
	教育心理学(中等)	2~③~④	2								1
	教育原理(中等)	1①~②	2								1
	教育制度論(中等)	1③~④	2								1
	中等社会科教育法A	3①~②	2								1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②	2								1
	社会科・公民科教育法A	3③~④	2								1
	中等社会科教育法演習A	3③~④	2								1
	中等道徳教育論	2③~④	2								1
	中等特別活動論	2③~④	2								1
	中等教育方法論	2①~②	2								1
	中等生徒・進路指導論	2①~②	2								1
	中等教育相談	2③~④	2								1
	教育実習事前事後指導	3・4通	1								2
	教育実習Ⅰ	3通	2								1
教育実習Ⅱ	4通	2								1	
教職実践演習(中・高)	4③~④	2								4	
差別問題論	1~③~④	2								1	
人権教育論	1③~④	2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
・学部関連科目	西洋史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1~③~④	2								1
	人文地理学Ⅰ	2~③~④	2								1
	人文地理学Ⅱ	2~③~④	2								1
	自然地理学	2~③~④	2								1
	地誌Ⅰ	2~③~④	2								1
	地誌Ⅱ	2~③~④	2								1
	哲学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	哲学概論Ⅱ	1~③~④	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1~③~④	2								1
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②	2								1
	教育心理学(中等)	2~③~④	2								1
	教育原理(中等)	1①~②	2								1
	教育制度論(中等)	1③~④	2								1
	中等社会科教育法A	3①~②	2								1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②	2								1
	社会科・公民科教育法A	3③~④	2								1
	中等社会科教育法演習A	3③~④	2								1
	中等道徳教育論	2③~④	2								1
	中等特別活動論	2③~④	2								1
	中等教育方法論	2①~②	2								1
	中等生徒・進路指導論	2①~②	2								1
	中等教育相談	2③~④	2								1
	教育実習事前事後指導	3・4通	1								2
	教育実習Ⅰ	3通	2								1
教育実習Ⅱ	4通	2								1	
教職実践演習(中・高)	4③~④	2								4	
差別問題論	1~③~④	2								1	
人権教育論	1③~④	2								1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と表現)」の兼任・兼任教員数を「5」から「4」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼任教員数を「6」から「5」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。</li> <li>・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修B(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。</li> <li>・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修B(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。</li> <li>・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。</li> <li>・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「1」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。</li> <li>・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「情報社会論」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「生物学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「教養講義(西洋の美術)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「教養講義(情報環境論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「総合教養講義a(西洋美術の図像学)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「総合教養講義a(英語と日本語)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「総合教養講義a(病気の生物学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「総合教養講義a(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。</li> <li>・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。</li> <li>・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。</li> <li>・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。</li> <li>・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス数調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「世界と地域」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「国際政治入門」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「体験実践A」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「体験実践B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更。</li> <li>・資料取扱いのため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「Hiroshima Studies」の配当年次を「1①～②」から「1②」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「Introduction to Public Speaking」の配当年次を「1②④」から「1①③」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「Global/Regional Studies B (Miyajima Studies)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更。</li> <li>・教育課程の充実を図るため、「Global/Regional Studies B (Developing Reading Comprehension)」を追加。</li> <li>・担当者調整により、「国際政治学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「基礎演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「ゼミナールa」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「ゼミナールb」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者調整により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「インターンシップA」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。</li> <li>・担当者及びクラス調整により、「インターンシップB」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。</li> </ul>			

(注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	381 科目	19 科目	401 科目	2 科目 [ + 1 ]	398 科目 [ + 17 ]	19 科目 [ 0 ]	419 科目 [ + 18 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、平成30年度未開講
2	教養講義(ドイツ文学)	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成30年度未開講
3	総合教養講義a (現代日本社会の諸相)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、平成30年度未開講
4	英語語法研究Ⅲ	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、平成30年度未開講。 次年度以降開講で調整中
5	英語語法研究Ⅳ	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、平成30年度未開講。 次年度以降開講で調整中
6	健康スポーツ実習 (フットサル)	1	1・2①~④	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成30年度未開講
7	長期インターンシップB	8	1・2通	専門	選択	実習時期調整中のため、平成30年度未開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の大部分が全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由で示すとおり、これらの科目の未開講のほとんどが、届出時点で予測不可能なものであった。また、すべて選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学習に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。  
 学生には、学生必携の『学修の手引き』、入学時、前期成績発表時及び後期成績発表時に教学センターガイダンスを実施し、丁寧に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{401} = \boxed{1.74} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡				
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		70,640㎡	0㎡	0㎡	70,640㎡				
		( 70,640㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 70,640㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		98室	17室	65室	18室 (補助職員 一人)	7室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		国際コミュニティ学部国際政治学科			8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	国際コミュニティ学部 国際政治学科	901,849[238,474] <del>913,652[243,367]</del> (870,349[234,634]) <del>(874,652[236,827])</del>	5,876[2,554] <del>5,612[2,495]</del> (5,876[2,554]) <del>(5,612[2,495])</del>	13,227[13,167] <del>+2,918[+2,298]</del> (13,227[13,167]) <del>(+2,918[+2,298])</del>	23,882 <del>23,240</del> (23,372) <del>(22,730)</del>	( )	( )		
	計	901,849[238,474] <del>913,652[243,367]</del> (870,349[234,634]) <del>(874,652[236,827])</del>	5,876[2,554] <del>5,612[2,495]</del> (5,876[2,554]) <del>(5,612[2,495])</del>	13,227[13,167] <del>+2,918[+2,298]</del> (13,227[13,167]) <del>(+2,918[+2,298])</del>	23,882 <del>23,240</del> (23,372) <del>(22,730)</del>	( )	( )		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		11,700㎡		952 948	1,200,000				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		8,871㎡		屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書費には電子ジャーナル・データベース整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	2,983千円	8,196千円	
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	1,697千円	5,429千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
			1,220千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	広島修道大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
商学部									
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10	昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13	昭和38年度	同上	
経済科学部									
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.12	平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.11	平成9年度	同上	
人文学部									
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.00	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.17	昭和48年度	同上	
法学部									
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—	平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部									
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.12	平成14年度	同上	
健康科学部									
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.05	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部									
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.12	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年度	同上	
商学研究科									
商学専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.00	昭和48年度	同上	
経営学専攻									
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.62	昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上	
経済科学研究科									
現代経済システム専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上	

経済情報専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上	
人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.60	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.50	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.10	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法律学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.00	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.25	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5 教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

<国際コミュニティ学部 国際政治学科>

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年7月)	該 当 な し		—		—

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <国際コミュニティ学部 国際政治学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学FD・SD規程に基づき広島修道大学大学運営会議で審議する。国際コミュニティ学部に関する事項を審議する組織として、国際コミュニティ学部FD推進委員会を設置した。さらに、国際コミュニティ学部の教授会においても、国際政治学科及び地域行政学科に関する教育内容、教育方法等の改善を図るための審議を、必要に応じて行うこととしている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### <大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

年に2回以上開催する予定であり、国際コミュニティ学部専任教員（学部契約教員を除く。）及び学部担当の教学センター職員が参加する。必要に応じて学部契約教員にも参加を願うことがある。

###### <学科会議>

国際コミュニティ学部教授会は両学科教員が参加して毎月1回開催しており、両学科に関する事項を学科所属に係る審議している。ただし、学科特有の検討課題がある際は、学科教員の全員参加で学科会議を開催するものとしている。

###### c 委員会の審議事項等

###### <大学運営会議>

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

- (1) カリキュラムの編成について
- (2) 授業科目のシラバスについて
- (3) 授業の方法について
- (4) 授業評価の方法について
- (5) 厳正で客観的な成績評価の実施について
- (6) 授業時間外の学修相談及び履修指導について
- (7) 授業アンケートの実施、分析及び検討について
- (8) 成績評価基準及び授業アンケート結果などの学生への周知について
- (9) その他必要な事項について

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学では、授業改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目的としたFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目的とした組織的な公開授業等を行っている。国際コミュニティ学部FD推進委員会では、カリキュラムの編成、授業評価の方法、授業時間外の学修相談及び履修指導などについて、相互に意見交換する予定である。

###### b 実施方法

全学のFD・SD研修会は、全教員が参加できるように、定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。また、大学を構成する各学部・部局がその取組みを共有できるように報告者を工夫している。国際コミュニティ学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に開催する。国際コミュニティ学部FD推進委員会における研修テーマは、FD運営委員が事前に調整し、各回の研修目的を達成できるように努力する。FD運営委員は、学部長、学部教務主任のほか教員若干名で構成している。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大カフォーラム(予定)」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」(10月10日)の開催が決定している。平成29年度は以下の通りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振り返って」

(6月14日開催 参加者数：教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラム一点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数：教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数：教員130名、職員77名)

・教育力アップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

(8月25日開催 参加者数：教員9名、職員11名)

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ144名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈国際コミュニティ学部〉

・国際コミュニティ学部FD推進委員会

5月定例教授会(5月9日開催予定)の終了後に第1回FD推進委員会を開催する予定である。テーマは「FD推進委員会で検討する事項と運営について」であり、FD推進委員会で検討すべき事項の確認と委員会の運営方法の検討を行う。

・国際コミュニティ学部教授会

第1回国際コミュニティ学部教授会(4月1日)では、カリキュラム編成、『学修の手引き』に関する情報を共有し、指導・助言すべき学生に関して意見交換した。国際コミュニティ学部の教員19名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFD・SD研修会では、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成30年度も第2学期末の7月、第4学期末の1月に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、授業担当者だけでなく学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表(学部単位の実施者数および率)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際政治学科は、本学法学部国際政治学科が従来培ってきた政治学・国際政治学の基礎的領域の教育を土台とした上で、英語による授業科目の導入などコミュニケーションツールとしての英語力の向上、体験実践科目による1年次からの国際交流体験による異文化理解の機会の増加により、国際理解を深め、多言語多文化共生社会において多様な価値観を有する人々との協働ができる人材を育成することを目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、ガイダンス期間から現在までの新入生の反応を見ると、設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきている手応えが感じられる。今後は、1年次第3学期(及びその直前の夏季休暇)に実施する体験実践科目への参加を促し、その体験が学科での学習に結びついていることを十分に説明していく予定である。

地域行政学科は、本学法学部国際政治学科が従来培ってきた政治学・行政学の基礎的領域の教育を土台とした上で、本学における地（知）の拠点整備事業（平成25年度から同29年度まで）において実践してきた広島県西部（広島市、廿日市市、北広島町）の市町との連携活動を受け継ぎ、地域の課題を理解し、地域の人々との協働により、コミュニケーション力を向上させ、課題解決のための方策を検討・提案することのできる、知識と実行力・発信力を兼ね備えた人材の育成を目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、ガイダンス期間から現在までの新入生の反応を見ると、設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきている手応えが感じられる。今後は、1年次第3学期（及びその直前の夏季休暇）に実施する体験実践科目への参加を促し、その体験が学科での学習に結びついていることを十分に説明していく予定である。

## ② 自己点検・評価報告書

### a 公表（予定）時期

前年度の教育研究活動に関する報告書を毎年7月に公表する予定である。

### b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

## ③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （4）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 2018年7月1日 )

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修道学園

## (2) 大学名

広島修道大学

## (3) 大学の位置

〒731-3195  
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)		
学部長	(ヤベ ツネオ) 矢部 恒夫 (平成30年4月1日)		
学科長等	(シノハラ ハジメ) 篠原 新 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合 (平成30年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際コミュニティ学部 地域行政学科 学士(地域行政学)	法学関係	4年	75人	- 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- 人 ( - ) [ - ]	75 人 ( - ) [ - ]	- 人 ( - ) [ - ]	1.10倍						
志願者数	- ( - ) [ - ]	479 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
受験者数	- ( - ) [ - ]	477 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
合格者数	- ( - ) [ - ]	268 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
B 入学者数	- ( - ) [ - ]	83 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( )) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	- [ - ] ( - )	83 [ 0 ]	[ ]							
2年次	/		- [ - ] ( - )							
3年次			/		- [ - ] ( - )					
4年次					/		- [ - ] ( - )			
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			- [ - ] ( - )			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	83 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	83 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。











【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
主専攻科目・学科科目・行政領域	行政学	1・2①	2		1						
	地方自治論	2・3②	2		1						
	自治体行政学	3①～②	2		1						
	都市経営論	3①～②	2		1						
	地方財政論	2・3④	2		1						
	環境行政論	3①～②	2		1					1	
	合意形成論	2・3④	2		1						
	地域コミュニケーション	1・2②	2			1					
	ソーシャルイノベーション論	2・3①	2		1	1					
	自治体行政実務	2・3④	1							1	
	地域資源論	2・3④	1							1	
	地域政策実践論	3①～④	2		1	1					
行政特論A(ソーシャルビジネス論)	2・3③	1								1	
行政特論A(地域資源創造論)	2・3③	1		1	1						
行政特論B(公共空間創造論)	3②～④	2		1	1					1	
行政特論B(地域交通論)	3①～②	2								1	
主専攻科目・学科科目・政策領域	政策概論	1・2②	2		1						
	政策構想論	2・3②～④	2		1						
	政策システム論	3①～②	2								1
	公共政策論	3②～④	2		1						
	地域産業政策論	3①～②	2								1
	社会政策論	2・3②	2			1					
	都市・地域戦略論	3②～④	2		1						
	地域デザイン論	3①	2		1						
政策特論A(雇用の法と政策)	2・3③	1		1							
政策特論B(労働政策論)	3④	2			1						
主専攻科目・学科科目・法律領域	法律学概論	1・2③～④	2								4
	憲法原論	2・3②～④	2								1
	行政法	2・3①～②	2								1
	地方自治法	2・3③～④	2								1
	地域の環境法	3②～④	2								1
	国際法	3③	2								1
	民法I	2・3①～②	2								1
	民法II	2・3③～④	2								1
	行政法総論	3②～④	2								1
	労働法	3①	2		1						
	社会福祉法	3②～④	2								1
	法律特論A(裁判と法)	2・3②	1		1						
法律特論B(行政組織法)	3②～④	2								1	
主専攻科目・学科連携科目	Hiroshima Studies	2・3①～②	2								1
	Japan Studies	3③	2								1
	国際政治経済	2・3③	2								1
	国際開発論	2・3②	2								1
	民族と社会	3①～②	2								1
	文明論研究	3・4③	1								1
	社会調査論	2・3②	2								1
	現代経済入門	1・2③～④	2								1
	地域経済論	3③	2								1
	マクロ経済学	2・4①～②	2								1
特別講義A(マスコミ文章講座)	1・2④④④	1								1	
特別講義B(リサーチリテラシー)	3①	2		1							
主専攻科目・演習科目	基礎演習	2①～②④	2		2	1					
	ゼミナールa	3①～②	2		5	2					
	ゼミナールb	3②～④	2		5	2					
	卒業研究	4②～④	2		5	2					
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	3・4②	1								1
	インターンシップA	2・3通	2		4	2					
	インターンシップB	2・3通	4		4	2					
	長期インターンシップA	1・2通	4								1
	長期インターンシップB	1・2通	8								1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通	1								1
	地域プロジェクトA	3①～②	2		1	1					
	地域プロジェクトB	3②～④	2		1	1					
	グローバル・プロジェクト入門	3・4③	1			1					
	グローバル・プロジェクトA	3・4④	2		1	1					
	グローバル・プロジェクトB	3・4④	2		1	1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
主専攻科目・学科科目・行政領域	行政学	1・2②	2		1						
	地方自治論	2・3②	2		1						
	自治体行政学	3①～②	2		1						
	都市経営論	3①～②	2		1						
	地方財政論	2・3④	2		1						
	環境行政論	3①～②	2		1						1
	合意形成論	2・3④	2		1						
	地域コミュニケーション	1・2②	2			1					
	ソーシャルイノベーション論	2・3①	2		1	1					
	自治体行政実務	2・3④	1								1
	地域資源論	2・3④	1								1
	地域政策実践論	3①～④	2		1	1					
行政特論A(ソーシャルビジネス論)	2・3③	1								1	
行政特論A(地域資源創造論)	2・3③	1		1	1						
行政特論B(公共空間創造論)	3②～④	2		1	1					1	
行政特論B(地域交通論)	3①～②	2								1	
主専攻科目・学科科目・政策領域	政策概論	1・2②	2		1						
	政策構想論	2・3②～④	2		1						
	政策システム論	3①～②	2								1
	公共政策論	3②～④	2		1						
	地域産業政策論	3①～②	2								1
	社会政策論	2・3②	2			1					
	都市・地域戦略論	3②～④	2		1						
	地域デザイン論	3①	2		1						
政策特論A(雇用の法と政策)	2・3③	1		1							
政策特論B(労働政策論)	3④	2			1						
主専攻科目・学科科目・法律領域	法律学概論	1・2③～④	2								4
	憲法原論	2・3②～④	2								1
	行政法	2・3①～②	2								1
	地方自治法	2・3③～④	2								1
	地域の環境法	3②～④	2								1
	国際法	3③	2								1
	民法I	2・3①～②	2								1
	民法II	2・3③～④	2								1
	行政法総論	3②～④	2								1
	労働法	3①	2		1						
	社会福祉法	3②～④	2								1
	法律特論A(裁判と法)	2・3②	1		1						
法律特論B(行政組織法)	3②～④	2								1	
主専攻科目・学科連携科目	Hiroshima Studies	2・3①～②	2								1
	Japan Studies	3③	2								1
	国際政治経済	2・3③	2								1
	国際開発論	2・3②	2								1
	民族と社会	3①～②	2								1
	文明論研究	3・4③	1								1
	社会調査論	2・3②	2								1
	現代経済入門	1・2③	2								1
	地域経済論	3③	2								1
	マクロ経済学	2・4①～②	2								1
特別講義A(マスコミ文章講座)	1・2④④④	1								1	
特別講義B(リサーチリテラシー)	3①	2		1							
主専攻科目・演習科目	基礎演習	2①～②④	2		2	1					
	ゼミナールa	3①～②	2		5	2					
	ゼミナールb	3②～④	2		5	2					
	卒業研究	4②～④	2		5	2					
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	3・4②	1								1
	インターンシップA	2・3通	2		4	2					
	インターンシップB	2・3通	4		4	2					
	長期インターンシップA	1・2通	4								1
	長期インターンシップB	1・2通	8								1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通	1								1
	地域プロジェクトA	3①～②	2		1	1					
	地域プロジェクトB	3②～④	2		1	1					
	グローバル・プロジェクト入門	3・4③	1			1					
	グローバル・プロジェクトA	3・4④	2		1	1					
	グローバル・プロジェクトB	3・4④	2		1	1					

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
主専攻科目・学部関連科目	日本史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	日本史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	東洋史概論Ⅰ	1①~②	2								2
	東洋史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	西洋史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	人文地理学Ⅰ	1+③~④	2								1
	人文地理学Ⅱ	1+③~④	2								1
	自然地理学	1+③~④	2								1
	地誌Ⅰ	1+③~④	2								1
	地誌Ⅱ	1+③~④	2								1
	哲学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	哲学概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1+③~④	2								1
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②			2						1
	教育心理学(中等)	1+③~④			2						1
	教育原理(中等)	1①~②			2						1
	教育制度論(中等)	1③~④			2						1
	中等社会科教育法A	3①~②			2						1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②			2						1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2						1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2						1
	中等道徳教育論	2③~④			2						1
	中等特別活動論	2③~④			2						1
	中等教育方法論	2①~②			2						1
	中等生徒・進路指導論	2①~②			2						1
	中等教育相談	2③~④			2						1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1						2
	教育実習Ⅰ	3通			1						1
教育実習Ⅱ	4通			2						1	
教職実践演習(中・高)	4③~④			2						4	
差別問題論	1+③~④			2						1	
人権教育論	1③~④			2						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
主専攻科目・学部関連科目	日本史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	日本史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	東洋史概論Ⅰ	1①~②	2								2
	東洋史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	西洋史概論Ⅰ	1①~②	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	人文地理学Ⅰ	1+③~④	2								1
	人文地理学Ⅱ	1+③~④	2								1
	自然地理学	1+③~④	2								1
	地誌Ⅰ	1+③~④	2								1
	地誌Ⅱ	1+③~④	2								1
	哲学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	哲学概論Ⅱ	1+③~④	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1①~②	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1+③~④	2								1
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②			2						1
	教育心理学(中等)	1+③~④			2						1
	教育原理(中等)	1①~②			2						1
	教育制度論(中等)	1③~④			2						1
	中等社会科教育法A	3①~②			2						1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②			2						1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2						1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2						1
	中等道徳教育論	2③~④			2						1
	中等特別活動論	2③~④			2						1
	中等教育方法論	2①~②			2						1
	中等生徒・進路指導論	2①~②			2						1
	中等教育相談	2③~④			2						1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1						2
	教育実習Ⅰ	3通			2						1
教育実習Ⅱ	4通			2						1	
教職実践演習(中・高)	4③~④			2						4	
差別問題論	1+③~④			2						1	
人権教育論	1③~④			2						1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と表現)」の兼任・兼任教員数を「5」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼任教員数を「6」から「5」に変更。
- ・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修B(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修B(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。
- ・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②・③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「1」に変更。
- ・時間割調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「情報社会論」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「生物学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋の美術)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(情報環境論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(西洋美術の図像学)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(英語と日本語)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(病気の生物学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・資料誤記載のため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・時間割調整により、「行政学」の配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「政策概論」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	386 科目	19 科目	406 科目	2 科目 [ + 1 ]	402 科目 [ + 1 6 ]	19 科目 [ 0 ]	423 科目 [ + 1 7 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、平成30年度未開講
2	教養講義(ドイツ文学)	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成30年度未開講
3	総合教養講義a (現代日本社会の諸相)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、平成30年度未開講
4	英語語法研究Ⅲ	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、平成30年度未開講。 次年度以降開講で調整中
5	英語語法研究Ⅳ	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、平成30年度未開講。 次年度以降開講で調整中
6	健康スポーツ実習 (フットサル)	1	1・2①~④	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成30年度未開講
7	長期インターンシップB	8	1・2通	専門	選択	実習時期調整中のため、平成30年度未開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の大部分が全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由で示すとおり、これらの科目の未開講のほとんどが、届出時点で予測不可能なものであった。また、すべて選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学習に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。  
 学生には、学生必携の『学修の手引き』、入学時、前期成績発表時及び後期成績発表時に教学センターガイダンスを実施し、丁寧に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{406} = \boxed{1.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡				
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		70,640㎡	0㎡	0㎡	70,640㎡				
		( 70,640㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 70,640㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		98室	17室	65室	18室 (補助職員 一人)	7室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		国際コミュニティ学部地域行政学科			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	国際コミュニティ学部 地域行政学科	901,849[238,474] <del>913,652[243,367]</del> (870,349[234,634]) <del>(874,652[236,827])</del>	5,876[2,554] <del>5,612[2,495]</del> (5,876[2,554]) <del>(5,612[2,495])</del>	13,227[13,167] <del>+2,919[+2,298]</del> (13,227[13,167]) <del>(+2,919[+2,298])</del>	23,882 <del>23,240</del> (23,372) <del>(22,730)</del>	( )	( )		
	計	901,849[238,474] <del>913,652[243,367]</del> (870,349[234,634]) <del>(874,652[236,827])</del>	5,876[2,554] <del>5,612[2,495]</del> (5,876[2,554]) <del>(5,612[2,495])</del>	13,227[13,167] <del>+2,919[+2,298]</del> (13,227[13,167]) <del>(+2,919[+2,298])</del>	23,882 <del>23,240</del> (23,372) <del>(22,730)</del>	( )	( )		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		11,700㎡	952 <del>948</del>	1,200,000	大学全体 増席(30)				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		8,871㎡	屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	2,983千円	8,196千円	
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	1,697千円	5,429千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,220千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	広島修道大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
商学部									
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10	昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13	昭和38年度	同上	
経済科学部									
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.12	平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.11	平成9年度	同上	
人文学部									
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.00	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.17	昭和48年度	同上	
法学部									
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—	平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部									
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.12	平成14年度	同上	
健康科学部									
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.05	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部									
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.12	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年度	同上	
商学研究科									
商学専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.00	昭和48年度	同上	
経営学専攻									
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.62	昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上	
経済科学研究科									
現代経済システム専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上	

経済情報専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上	
人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.60	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.50	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.10	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法律学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.00	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.25	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

<国際コミュニティ学部 地域行政学科>

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画	
設置時 (平成29年7月)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	<p>国際コミュニティ学部地域行政学科における完成年度後の適正な教員組織編成を検討するために、平成30年4月23日に開催された大学運営会議での承認を以って、学部長をリーダーとして5名の構成員（国際コミュニティ学部教授4名及び総務部長）から成る「国際コミュニティ学部教員組織編成の将来構想検討ワーキンググループ」を設置した。設置期間は平成30年4月23日から平成31年3月31日とし、当該ワーキンググループを中心として本年度内に後任人事の検討に着手する。</p>	未履行	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <国際コミュニティ学部 地域行政学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学FD・SD規程に基づき広島修道大学大学運営会議で審議する。国際コミュニティ学部に関する事項を審議する組織として、国際コミュニティ学部FD推進委員会を設置した。さらに、国際コミュニティ学部の教授会においても、国際政治学科及び地域行政学科に関する教育内容、教育方法等の改善を図るための審議を、必要に応じて行うこととしている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### <大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

年に2回以上開催する予定であり、国際コミュニティ学部専任教員（学部契約教員を除く。）及び学部担当の教学センター職員が参加する。必要に応じて学部契約教員にも参加を願うことがある。

###### <学科会議>

国際コミュニティ学部教授会は両学科教員が参加して毎月1回開催しており、両学科に関する事項を学科所属に係る審議している。ただし、学科特有の検討課題がある際は、学科教員の全員参加で学科会議を開催するものとしている。

###### c 委員会の審議事項等

###### <大学運営会議>

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

- (1) カリキュラムの編成について
- (2) 授業科目のシラバスについて
- (3) 授業の方法について
- (4) 授業評価の方法について
- (5) 厳正で客観的な成績評価の実施について
- (6) 授業時間外の学修相談及び履修指導について
- (7) 授業アンケートの実施、分析及び検討について
- (8) 成績評価基準及び授業アンケート結果などの学生への周知について
- (9) その他必要な事項について

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学では、授業改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目的としたFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目的とした組織的な公開授業等を行っている。国際コミュニティ学部FD推進委員会では、カリキュラムの編成、授業評価の方法、授業時間外の学修相談及び履修指導などについて、相互に意見交換する予定である。

###### b 実施方法

全学のFD・SD研修会は、全教員が参加できるように、定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。また、大学を構成する各学部・部局がその取組みを共有できるように報告者を工夫している。国際コミュニティ学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に開催する。国際コミュニティ学部FD推進委員会における研修テーマは、FD運営委員が事前に調整し、各回の研修目的を達成できるように努力する。FD運営委員は、学部長、学部教務主任のほか教員若干名で構成している。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大カフォーラム(予定)」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」(10月10日)の開催が決定している。平成29年度は以下の通りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振りかえって」

(6月14日開催 参加者数：教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラム一点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数：教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数：教員130名、職員77名)

・教育力アップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

(8月25日開催 参加者数：教員9名、職員11名)

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ144名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈国際コミュニティ学部〉

・国際コミュニティ学部FD推進委員会

5月定例教授会(5月9日開催予定)の終了後に第1回FD推進委員会を開催する予定である。テーマは「FD推進委員会で検討する事項と運営について」であり、FD推進委員会で検討すべき事項の確認と委員会の運営方法の検討を行う。

・国際コミュニティ学部教授会

第1回国際コミュニティ学部教授会(4月1日)では、カリキュラム編成、『学修の手引き』に関する情報を共有し、指導・助言すべき学生に関して意見交換した。国際コミュニティ学部の教員19名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFD・SD研修会では、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成30年度も第2学期末の7月、第4学期末の1月に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、授業担当者だけでなく学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表(学部単位の実施者数および率)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際政治学科は、本学法学部国際政治学科が従来培ってきた政治学・国際政治学の基礎的領域の教育を土台とした上で、英語による授業科目の導入などコミュニケーションツールとしての英語力の向上、体験実践科目による1年次からの国際交流体験による異文化理解の機会の増加により、国際理解を深め、多言語多文化共生社会において多様な価値観を有する人々との協働ができる人材を育成することを目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、ガイダンス期間から現在までの新入生の反応を見ると、設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきている手応えが感じられる。今後は、1年次第3学期(及びその直前の夏季休暇)に実施する体験実践科目への参加を促し、その体験が学科での学習に結びついていることを十分に説明していく予定である。

地域行政学科は、本学法学部国際政治学科が従来培ってきた政治学・行政学の基礎的領域の教育を土台とした上で、本学における地（知）の拠点整備事業（平成25年度から同29年度まで）において実践してきた広島県西部（広島市、廿日市市、北広島町）の市町との連携活動を受け継ぎ、地域の課題を理解し、地域の人々との協働により、コミュニケーション力を向上させ、課題解決のための方策を検討・提案することのできる、知識と実行力・発信力を兼ね備えた人材の育成を目的としている。

この目的の達成状況に関する総括評価・所見を学科開設間もない現時点で行うことは困難であるが、ガイダンス期間から現在までの新入生の反応を見ると、設置趣旨と教育目的を十分理解し、興味・関心を持った学生が入学してきている手応えが感じられる。今後は、1年次第3学期（及びその直前の夏季休暇）に実施する体験実践科目への参加を促し、その体験が学科での学習に結びついていることを十分に説明していく予定である。

## ② 自己点検・評価報告書

### a 公表（予定）時期

前年度の教育研究活動に関する報告書を毎年7月に公表する予定である。

### b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

## ③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （4）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 2018年7月1日 )

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。